



富士見市立東中学校

4月号

こ ち  
東中だより 東風



【学校教育目標】 『夢や希望をはぐくみ、一人一人が輝く学校』

巻頭言

校長 菅野 誠一

### 春、まばゆい白色に

令和2年度当初人事異動により、千代田栄校長の後任としまして、4月1日付で本校に着任いたしました、菅野誠一（すがのせいいち）と申します。よろしくお願いいたします。

さて、“春夏秋冬”という言葉に、四季は春から始まることを感じ取ります。香しく色鮮やかな春花が、4月からの人々の新生活を彩り、潤わせてくれます。また、自然美は、何かを気づかせてもくれます。満開桜から、すっかり葉桜へと色合いを変えた桜木の太い幹が、まるで太筆となって、『明日ありと 思う心の仇桜（あだぎくら） 夜半に嵐の 吹かぬものかは（親鸞）』と“桜葉書”にしたためて、人々の胸中の“郵便ポスト”へ“春風のバイク”で届けてくれるかのようです。「明日、桜を楽しもうと思っても、真夜中に花散らしの雨や嵐で散ってしまうかもしれないから、今日見ておくことだ。」と…。そして、何事も「そのうちに」でなく「その日のうちに」することの大切さを、舞い散った桜の花びらが、遠くの方から告げているようにも思えてきます。

「新学年」「新学級」「新入生」と、『新』の字が目通しに、『しん』の音が耳通しに、真新しい教科書の印刷の匂いが鼻通しに、生徒の向学心を亢進、充溢させてくれます。『真っ新（まっさら）』が『真っ白（まっしろ）』に文字変換するかのごとく、新年度は純白色に包まれます。『春はあけぼの。やうやう白くないかく山ぎは〜』枕草子の冒頭に、「春」と「白」にピントが重なります。ふと、「白」の一字に新井白石のエピソードを思い起こします。遊んでばかりいた白石に父親が諭しました。「米びつから一粒の米を取っても、米が減ったことには気づかない。でも、一年、二年と毎日一粒ずつ取っていくと、米が減ったことがわかる。反対に、米びつに一粒の米を入れても、米が増えたか気づかない。でも、一年、二年と毎日一粒ずつ加えていくと、米が増えたことがわかる。勉強や習い事も同じだ。一日だけ努力しても向上しないが、毎日努力すれば向上していく。一日だけ怠けても劣らないが、毎日怠ければ劣っていく。」白石という名は“白い石”と書きます。この話に一粒の米が、小さな“白い石”に見えてなりません。

「百」の字は「白」の上に「一」 真っ白な心での“一の力”が“百人力”に

# 令和2年度当初 人事異動

## 【転退職教職員】

職名	氏名	転出先
校長		
教諭		
教諭		
教諭		
教諭		
事務専門員		

## 【転入・新採用教職員】

職名	氏名	前任校等
校長		
主幹教諭		
教諭		
教諭		
教諭		
事務主事		
すこやか支援員		

## 今年度の本校の教職員組織です

職名	氏名	教科	部活動	職名	氏名	教科	部活動
校長				3年副担任			
教頭				いなほ学級			
主幹教諭				非常勤講師			
1学年主任				英語指導助手			
1-1担任				養護教諭			
1-2担任				県費事務職員			
1-3担任				市費事務職員			
1年副担任				ふれあい相談員			
2学年主任				ふれあい相談員			
2-1担任				学校司書			
2-2担任				学習支援員			
2-3担任				すこやか支援員			
2年副担任				校務員			
3学年主任				校務員			
3-1担任				給食仕分員			
3-2担任				スクールカウンセラー			
3-3担任							

在籍生徒数 令和2年4月1日現在

	男子	女子	計
1学年	46	36	82
2学年	42	42	84
3学年	51	47	98
いなほ学級	2	1	3
計	141	126	267

### 新型コロナウイルス対応関係について

- ・臨時休業中の学校からの連絡等は原則的に学校一斉メールを通して行うこととなります。
- ・市内全校に関わる連絡等は富士見市ホームページに掲載されます。

## 学校一斉メールの登録について

学校一斉メールの登録を早急にお願いします。

(新2年生、3年生ですでに登録されている場合は、再登録は不要です。)

4月9日、10日、13日、14日の10:00にテストメールを送りますので、届かない場合は、東中学校教頭までお知らせ下さい。